

未来社会工学開発研究センター

平成 29 年 4 月 1 日 発足

Society5.0 を実現するモビリティ・インフラの先端研究拠点

移動の自由は人類の根源的な希求です。自動運転、電動化、水素社会、シェアリング、データ利活用などの社会実装は個社では解決できない課題に直面しています。社会受容性の醸成、法規制、社会制度、国際協調が必要となり、ルール形成力を持つ人材も求められます。そこで、筑波大学とトヨタ自動車（株）は Society5.0 を実現するモビリティ・インフラの先端研究拠点として、未来社会工学研究開発センターを設立しました。地域社会の次世代自動車交通基盤への提言やモビリティイノベーションの社会応用の研究に着手しています。社会工学を中核とした国際統合睡眠医科学研究機構やサイバニクス研究センターとの連携や数学応用で、学際性ある融合研究とオープンラボ機能を発揮し、組織的な産学官連携による拠点形成を進めます。

センターのミッション

Society5.0 を実現する次世代自動車交通基盤

《社会課題解決》

移動の自由、時空間制約の解放
=安全・自由・スムーズに移動できる社会

利便性 交通事故ゼロ 渋滞解消

©トヨタ自動車

《経済成長》

新たな社会サービス創出
=オンデマンドを超える移動可能なサービス

©トヨタ自動車

新たな地域サービス 地域包括ケア

地域の存続

モビリティイノベーションの社会応用

IoT 車両情報

《つながるクルマ》
C : Connected

《自動運転》
A : Autonomous

協調型 ITS

エネルギー
マネジメント

《電動化・水素社会》
E : Electric

モビリティ
プラットフォーム

《シェアリング》
S : Shared & Services

©トヨタ自動車

システム情報系
サイバニクス研究センター
国際統合睡眠医科学研究機構
人工知能科学センター
ビジネスサイエンス系
体育系
芸術系
国際産学連携本部

筑波大学
未来社会工学開発研究センター

官庁・自治体
国立研究所
国内外大学
日本経済団体連合会
産業競争力懇談会
日本プロジェクト産業協議会

連携 共同研究

連携 提言